

126[»]2の 広場

2025.9-11



ミッション

・患者さんに優しく信頼される医療で社会に貢献します。

ビジョン

- ・神経難病(てんかんを含む)、重症心身障がい、リハビリテーション、結核、高齢者に対して良質な医療を提供します。
- ・医療連携を密にして地域に開かれた医療を目指します。
- ・良き医療人として知識・技術と人間性を養い常に自己研鑽に努めます。
- ・医師、看護師等の人材を確保し健全な経営基盤を構築します。

目 次

●山看祭	2
●看護学校主催 先輩と語る会「NHO病院説明会」	2
●転入者・新規採用者／職場紹介	3
●第79回国立病院総合医学会に参加して	4-5
●秋の大運動会	6
●第31回北海道・東北地区 重症心身障がい研修会開催報告	6
●令和7年ふれあい広場「秋のつどい」「文化の日」	7
●外来担当表／編集後記	8

山看祭

山形病院附属看護学校
教員 石山 愛

9月27日、第10回目となる「山看祭」が開催されました。本校の明るい雰囲気や活気のある様子から着想を得て、「YELLOW」というスローガンを掲げ、全学年一丸となって本番まで準備を進みました。当日はお天氣にも恵まれ、周辺地域から多くの方がご来場いただき、一緒に楽しむことができました。「山看祭」での経験が、学生達の成長や今後の活躍につながっていくことを期待しています。

看護学校主催

先輩と語る会「NHO病院説明会」

附属看護学校 教員 渡辺 玲

9月12日に2年生を対象にした「先輩と語る会」が行われました。東北地区のNHO8病院が参加し、前半は各病院の説明、後半は各病院のブースをまわり当校出身の先輩看護師を交えて情報交換を行いました。各病院の説明では、工夫を凝らしたパワーポイントや動画が流れ、学生はメモを取りながら真剣に説明を聞いていました。先輩看護師との情報交換では、病院の特徴、職場環境、仕事のやりがいなど就職先を決めるために必要な情報を得ていました。学生からは、「先輩看護師から直接仕事の話などを聞けてよかったです」と感想があり、就職先を決める参考になったようです。得た情報をもとに自分にあった就職先を決めてもらえたならと思います。

— 転入者・新規採用者 —

①氏名 ②職名 ③出身地 ④自己PR・抱負など

①阿部 有希

- ②看護部2病棟
③山形県米沢市



④私は学生の時から慢性期の看護に興味があり、米沢病院でも6年間重心病棟で勤務して参りました。山形病院でも早く患者様とスタッフの顔と名前を覚え、新たな知識・技術についても勉強しながら頑張っていきたいと思います。一時期習っていた手話についても学び直そうかな、とも思っています。よろしくお願ひいたします。

①前野 好子

- ②看護部2病棟
③山形県最上郡真室川町
④母校の附属病院で看護師として勤務出来ることを嬉しく思っています。安全・安心・安楽な看護提供に努めます。



職場紹介

薬剤科

副薬剤科長 坂内 英樹

薬剤科では薬剤師5名と薬剤助手2名が業務に従事しています。調剤、薬剤管理指導、医薬品適正管理、医薬品情報管理、治験事務局等の業務の他、チーム医療への参画や医師業務負担軽減にも積極的に取り組んでいます。これらを通じて、患者さんの薬物療法における有効性と安全性の向上に貢献していきたいと考えています。



第79回

国立病院総合医学会に参加して

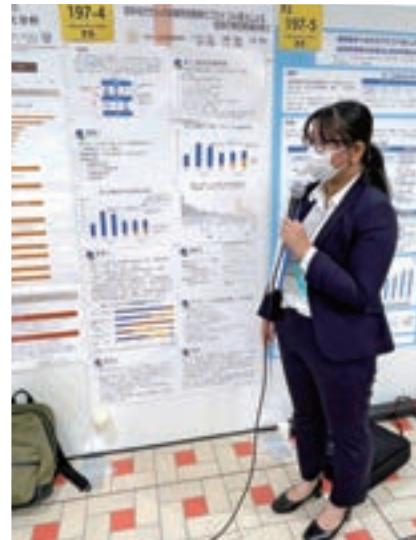
5病棟 副看護師長 三部 郁美

11月7日、8日に石川県金沢市で開催された第79回国立病院総合医学会に参加し「チームで動く虐待防止マネジメント—院内ラウンドによる効果—」というテーマで発表してきました。内容は2024年10月に発足した虐待防止マネジメント部会で行っている多職種による院内ラウンドの取り組み、成果をまとめたものです。他院、多職種の方との交流もあり大変、勉強になりましたので今後の活動の参考にさせていただきたいと考えています。このような貴重な機会を頂き、また、多くの方よりご指導、ご協力頂きありがとうございました。

**薬剤科 薬剤師 早川 奏子**

第79回国立病院総合医学会に働き方改革領域として参加し、院内での疑義照会簡素化プロトコル導入による医師の負担軽減の検討についてポスター発表を行いました。質疑応答では、薬剤師の負担軽減について質問があり、新たな視点を得ることができました。また、他施設の様々な取り組みについての発表を聞くよい機会となり、新たな発見を得ることができました。特に、他施設での簡素化プロトコルの取り組みは今後当院においても検討したい内容でした。

今回初めて参加した総合医学会を通じて得た新たな知見を、当院での活動に活かしていきたいと考えています。



リハビリテーション科 副理学療法士長 滝野 雅文

第79回国立病院総合医学会にて口述発表を行いました。毎年人材育成に関する発表を行っています。今年は「キャリアラダーと自己効力感の関係性について」というテーマで発表を行いました。NHOでも人材育成やマネジメントに重点を置かれるようになってきており、今後ますますこのようなテーマは重要になってくるのかと考えております。今回他の施設の方も数多くこの分野で発表されており大変参考になりました。人材育成やマネジメントの分野はまだまだ学術的に確立されておらず、具体的なアプローチも難しい分野ではありますが、これからも考え続け挑戦していければと思っております。

**3病棟 副看護師長 斎藤 千鶴**

金沢市で開催された第79回国立病院総合医学会に参加しました。今回、R4年から副看護師長のWGが中心となり倫理観の醸成を目標に看護師の教育に取り組み倫理的行動尺度表で評価を行ってきた3年間のまとめを発表してきました。発表後の意見交換では、患者家族の思いや要望を多職種間で共有する必要性を再認識しました。他施設から倫理的行動尺度表を参考にしたいという声もあがりました。

近年、医療者、介護者の倫理や虐待の意識が向上している社会情勢もあり、今後も継続した取り組みを実施し、質の高い看護を提供できるように努めていきたいと思います。



重症心身障がい病棟行事 秋の大運動会

～みんなで
実りの秋を楽しもう～

療育指導室 保育士 村山真優子

10月8日、爽やかな秋晴れのもと、病棟行事「秋のつどい」が開催されました。今年のテーマは「秋の大運動会」。利用者さん、ご家族、スタッフが一体となって、秋の恵みを感じながら楽しいひとときを過ごしました。



まずは、山形弁によるユニークなラジオ体操でウォーミングアップ。会場には笑顔が広がり、和やかな雰囲気でスタートしました。

続いて行われたのは、衣装を探す借り物ゲームと、果物の収穫数を競う玉入れ競技。どちらも大盛り上がりで、応援の声や笑い声が響き渡りました。競技の後は、色とりどりのパラシュートを使ったクールダウンタイム。風に舞うパラシュートに目を輝かせる姿が印象的でした。

最後には、行事に合わせた昼食の特別メニューの紹介もあり、食欲の秋も満喫していただけたようです。

スポーツの秋、収穫の秋、食欲の秋——たくさんの「秋」を感じることができた、心温まる一日となりました。



第31回 北海道・東北地区 重症心身障がい研修会 開催報告



療育指導室長 箱石 悟

令和7年9月27日(土)、北海道・東北地区における独立行政法人国立病院機構の重症心身障がい児(者)病棟に勤務する医療・療育関係者が一堂に会し、「第31回重症心身障がい研修会」が開催されました。本研修会は、重症心身障がい児(者)の療育の質の向上を目的としており、今年度は山形病院が運営事務局を務めました。

今回はWEB形式での開催となり、各施設や親の会、関連事業所の皆様にも広くご参加いただきました。当院では、療育訓練室にご家族と職員が集まり、ハイブリッド形式での参加を

実施しました。総勢228名の皆様にご参加いただき、活発な意見交換と学びの場となりました。

特別講演では、当院院長・宇留野勝久先生より「重症心身障害の緩和ケア」と題し、本人の意思を尊重し、苦痛を取り除くことの意味について、時間をかけて丁寧に考えていく必要性など、深い示唆に富んだご講演をいただきました。

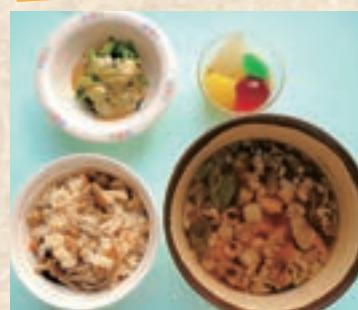
なお、来年度の研修会は国立病院機構青森病院が事務局を担当し、開催される予定です。来年も多くのご家族の皆様にご参加いただき、共に学びを深めていけることを願っております。



秋の味覚満載!

栄養管理室主任栄養士 半澤 里紗

秋のつどい



一般食(固形の料理)



移行食(1cm角軟らか料理)



嚥下食(ゼリー状の料理)

10月8日、重症心身障がい病棟の行事「秋のつどい」の昼食では秋の味覚満載のスペシャルメニューを提供しました。きのこ粥に山形の名物牛肉と里芋たっぷりの芋煮、調理師手作りの秋の彩りパフェで秋を感じて頂きました。皆さんが美味しく安全に食べて頂けるように、芋煮のこんにゃくはゲル化剤を用いてゼリー状に加工するなど、全ての料理を嚥下機能に合わせた食形態へ調整しました。

文化の日



一般食(固形の料理)



移行食(1cm角軟らか料理)



嚥下食(ゼリー状の料理)

11月3日、「文化の日」に合わせて全患者様を対象に行事食を提供しました。山形の芋煮は地域によって味付けや具材が変わります。今回庄内風芋煮として豚肉に厚揚げ、味噌味でいつもと違う芋煮を楽しんで頂きました。また栗たっぷりの栗ご飯に抹茶とこしあんを使ったババロアで和の文化を感じられるよう工夫しました。

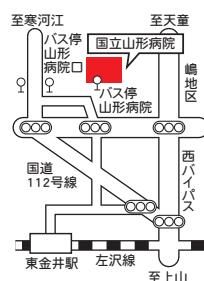
国立病院機構 山形病院 外来診療担当表

令和7年10月1日

区分	月	火	水	木	金	備考
脳神経内科 (頭痛・めまい・しびれ)	亀谷紫美夫	小山 信吾 (隔週)	山川 達志	亀谷紫美夫	黒川 克朗 (隔週)	9:00~12:00
	宮林 隆夫	小林 和夫	黒川 克朗	小山 信吾	小林 和夫	
認知症外来	※	—	—	—	※	12:30~16:00 ※当院脳神経内科医対応
呼吸器内科	—	布宮 慶子	寺下 京子	—	寺下 京子	9:00~12:00
循環器内科	八巻 通安	太田 郁郎	—	—	—	月曜日 9:00~12:00 火曜日 13:00~16:00
精神科	—	—	齋藤 裕介 <山形大>	—	—	9:00~12:00 ※病棟対応のみ
てんかん科	守川 新人	清水 洋	宇留野勝久 守川 新人 清水 洋	守川 新人	清水 洋	9:00~12:00 (水曜日は新患)
リハビリテーション科	—	豊岡 志保	—	豊岡 志保	—	9:00~12:00
脳神経外科	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	9:00~12:00
手話外来	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	9:00~15:00
整形外科	永井 悠 <山形大> (第2・第4)	—	—	—	濱崎 正康 <山形大> (第2・第4)	9:30~12:00 ※病棟対応のみ
放射線科	—	桐井 一邦 <山形大>	—	安達 真人	鹿戸 将史 <山形大>	13:30~16:00
歯科	加藤 肇	—	<山形大>	<山形大>	—	月・水曜日 14:00~16:00 木曜日 13:30~16:00 ※病棟対応のみ
高次脳機能障がい科	—	—	—	鈴木 匠子	—	9:30~12:30 予約窓口:高次脳機能障がい者支援センター TEL.023-681-3394
糖尿病外来	—	—	—	<山形大>	—	9:00~12:00 ※病棟対応のみ
耳鼻咽喉科	—	—	—	<山形大>	—	15:00~ ※病棟対応のみ
皮膚科(※)	逸見 愛美 <山形大>	—	—	—	吉岡 千春 <山形大>	※病棟対応のみ (第2・第4金曜日)

※学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

◆初診受付: 平日8:30~11:30
◆再診(予約外)受付: 平日8:30~11:30
◆休診日: 土曜日、日曜日、祝日、 12月29日~1月3日
◆急患は随時受け付けますが、来院前に必ず ご連絡ください。 (☎023-684-5566)
◆紹介状をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示ください。
◆地域医療連携室 (☎代表023-684-5566/FAX023-681-9477)



編集後記

今年のワールドシリーズは手に汗握る展開の連続で、終わってしばらく経ちましたが未だに興奮から覚めません。なかでも、日本人選手の活躍は勿論ですが、勝利に向かって思いを一つに、各自の持てる力を最大限発揮し、苦しい場面でもお互いを信じ、支え合う姿に感動し、改めてチームワークの重要性を感じました。当院もそのようなチームになればと願っております。(S.S)



独立行政法人 国立病院機構山形病院

〒990-0876 山形市行才126-2

TEL023-684-5566(代)

FAX023-684-2519(代)

発行責任者 山川 達志

編集 山形病院広報誌編集委員会

